

漁海況月報

令和2年12月1日

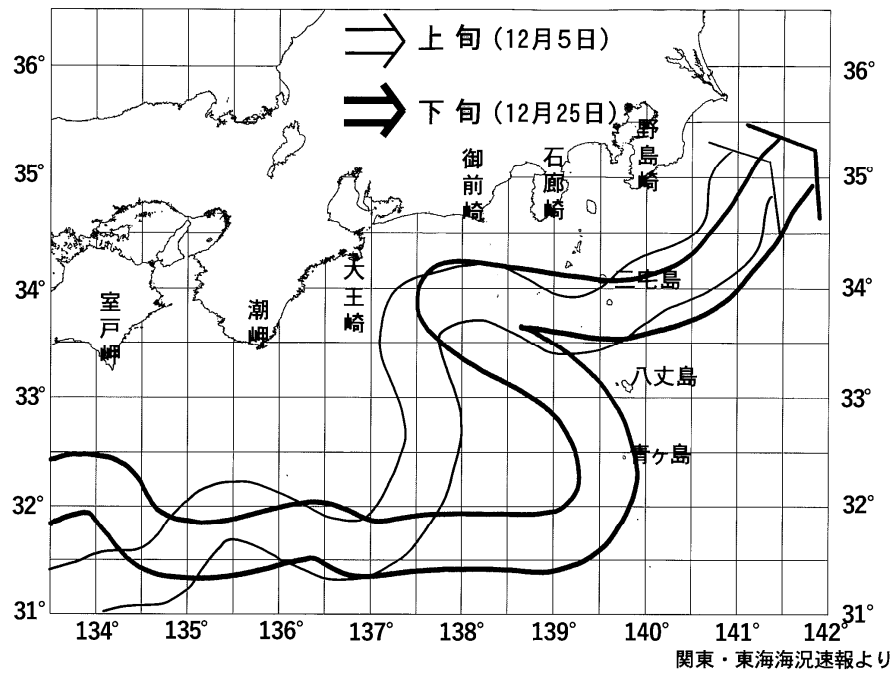
No. 12 ~12月31日

静岡県水産・海洋技術研究所

(電話 054-627-1815)

静岡県水産・海洋技術研究所 伊豆分場

(電話 0558-22-0835)



12月定地水温の旬平均値() (下段は平年偏差)

期間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津
上旬	19.2	19.2	19.2	20.1	19.4	19.3
	1.8	1.3	1.9	2.2	1.8	2.5
中旬	17.5	17.4	17.5	17.9	18.2	17.6
	0.9	0.3	1.1	1.1	1.6	1.6
下旬	16.4	16.5	16.8	16.7	16.8	16.9
	0.8	0.2	1.1	0.7	1.2	1.9
月	17.6	17.7	18.0	18.2	18.1	18.1
	1.1	0.6	1.5	1.3	1.5	2.2

*地頭方の水温観測は終了しました。

[黒潮流路]

潮岬を大きく離岸した後の遠州灘沖への北上開始部が東進する流路となった。

上・中旬は潮岬を大きく離岸し、東経 137° 付近から遠州灘沖まで直線状に北上した後、三宅島付近を東流する流路となり、熊野灘～遠州灘、駿河湾(上旬のみ)、大島東西水道に向けて暖水波及が見

られた。

下旬は潮岬～石廊崎を大きく離岸し、東経 139° 付近から遠州灘沖まで S 字状に北上した後、三宅島付近を東流する流路となり、熊野灘～遠州灘、大島西水道に向けて暖水波及が見られた。

[県下沿岸域]

上旬は稲取で「やや高め」、伊東、下田、雲見、沼津で「高め」、焼津で「極めて高め」であった。中旬は稲取で「平年並」、伊東、下田、雲見で「やや高め」、沼津、焼津で「高め」であった。下旬は稲取で「平年並」、伊東、下田、雲見、沼津で「やや高め」、焼津で「高め」であった。

[竿釣りカツオ]

12月の県内主要5港(沼津、清水、焼津、小川、御前崎)における近海及び沿岸竿釣り船によるカツオの水揚げはなかった(前年同月水揚げなし)。

竿釣り(近海+沿岸船)カツオ水揚量(県内主要5港)

期間	水揚量(ト)	水揚隻数	平均水揚量/隻(ト)	平均単価(円/kg)
R2年12月上旬	0	0	-	-
中旬	0	0	-	-
下旬	0	0	-	-
R2年12月計	0	0	-	-
R元年12月計	0	0	-	-
H30年12月計	0	0	-	-

[定量網]

伊豆半島東岸大型定置網7か統(伊豆山、古網、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津)の水揚量は139.2トンで前年の同漁場の水揚量(78.1トン)の1.8倍であった。また、1か統あたりの水揚量は、19.9トンで前年(11.2トン)の1.8倍、平年(42.1トン)の47%であった。水揚量の多い漁場は、古網漁場(41.5トン、さば類、マルソウダ、マルアジ)、次いで川奈漁場(32.4トン、さば類、マルソウダ、サワラ)であった。

多獲された魚種の水揚量は次頁(表)の通りで、さば類は63.2トン、前年比3.8倍、平年比83%であった。水揚げされたさば類はゴマサバ主体で、その量は51.9トン、前年比5.5倍、平年比70%であった。マルソウダは19.3トンで、前年比16.8倍、平年比2.21倍であった。マアジは5.9トン、前年比2.0倍、平年比44%であった。スルメイカは5.3トンで、前年比79%、平年比16%であった。ブリは4.9トン、前年比94%、平年比1.2倍であった。水揚げされたブリは銘柄わかし主体で、その量は3.0トン、前年比71%、平年比5.5倍であった。

多獲された魚種の主な漁場は、次頁(表)の通りで、各漁場の水揚量の割合は、さば類では古網漁場が37%(23.5トン)、川奈漁場が32%(20.4トン)、マルソウダでは古網漁場が29%(5.6トン)、北川漁場が21%(4.0トン)、川奈漁場が19%(3.6トン)、富戸漁場が16%(3.0トン)、マアジでは伊豆山漁場が44%(2.6トン)、古網漁場が42%(2.5トン)、スルメイカでは川奈漁場が31%(1.6トン)、北川漁場が29%(1.5トン)、谷津漁場が17%(0.9トン)、ブリでは伊豆山漁場が46%(2.2トン)、北川漁場が24%(1.2トン)を占めた。

*平年：昭和57年～令和元年の平均値

(表) 多獲された魚種の水揚量と主な漁場

魚種	水揚量(トン)	前年比	平年比	主な漁場
さば類	63.2	3.75	0.83	古網、川奈
マルソウダ	19.3	16.8	2.21	古網、北川、川奈、富戸
マアジ	5.9	2.03	0.44	伊豆山、古網
スルメイカ	5.3	0.79	0.16	川奈、北川、谷津
ブリ	4.9	0.94	1.24	伊豆山、北川

[サバたもすくい網]

小川港所属の棒受網漁船は月を通じてたもすくい主体で操業した。漁場は月を通じて大島南部に形成された。水揚量はゴマサバ281トン(前年同月比2.2倍)であり、1隻あたり水揚量は21.6トン(前年同月比2.9倍)であった。マサバの水揚はごく僅かであった(前年同月水揚無し)。1kgあたり平均単価はゴマサバは102円で前月(107円)をわずかに下回り、前年同月(130円)を下回った。

水揚げされたゴマサバの体長組成は32cmにモードを持つ単峰型を示した。

小川港 さば類(たもすくい網漁業)水揚量

期間	水揚量(トン)		水揚日数	水揚隻数	水揚/隻(トン)		単価(円/kg)		漁場
	マサバ	ゴマサバ			マサバ	ゴマサバ	マサバ	ゴマサバ	
R2年12月上旬	0	219	5	10	0	21.9	216	101	大島南部
中旬	-	23	1	1	-	23.4	-	103	大島南部
下旬	-	38	1	2	-	19.2	-	111	大島南部
R2年12月計	0	281	7	13	0	21.6	216	102	大島南部
R元年12月計		127	7	17		7.5		130	三本、利島
H30年12月計		66	2	4		16.4		106	三宅、三本

*水揚量については、旬ごと、魚種ごとに四捨五入しているため月計と一致しないことがある。

*表中の「-」は水揚げがなかったこと、「0」は水揚げがごく僅かであったことを示す。

[サクラエビ船曳網]

令和2年の秋漁は12月23日で終漁となった。12月の出漁日数は5日、水揚量は44.3トンであった(前年同月の出漁日数は7日、水揚量は32.1トン)。主漁場は大井川沖から相良沖であった。水揚げされたサクラエビの体長組成は32mm付近にモードを持つ当歳エビと39mm付近にモードを持つ1歳エビから構成されていた。

サクラエビ水揚量

期間	水揚量(トン)	日数	漁場
R2年12月上旬	27.9	3	大井川沖~相良沖
12月中旬	8.5	1	大井川沖~相良沖
12月下旬	8.0	1	相良沖
R2年12月計	44.3	5	大井川沖~相良沖
R元年12月計	32.1	7	焼津沖~相良沖
H30年12月計	-	-	商業操業実績なし
H29年12月計	152.0	9	焼津沖、大井川沖

*水揚量は、旬ごとに四捨五入しているため月計と一致しないことがある。

[シラス船曳網]

県内主要6港における1か統当りの水揚量は、駿河湾(静岡、吉田)が107kg/統、遠州灘(御前崎、福田、舞阪、新居)が216kg/統であった。主要6港全体では146kg/統と前年同月(55kg/統)の2.7倍、平年同月(過去5か年平均:156kg/統)の93.6%であった。また、水揚量は115.7トンで前年同月(22.1トン)の5.2倍、平年同月(112.0トン)の1.0倍と、前年同月を上回り、平年同月並となった。平均単価は1,060円/kgと、前年同月(1,847円/kg)の57.4%、平年同月(1,108円/kg)の95.6%と、前年同月を下回り、平年同月並となった。

シラス水揚量(主要6港)

漁港	水揚量(トン)	延日数	延統数	1か統当たり水揚量(kg/統)	平均単価(円/kg)
新居	1.9	2	6	316	772
舞阪	31.1	5	127	245	919
福田	20.7	5	110	189	886
御前崎	8.0	4	43	185	1,058
吉田	30.6	11	307	100	1,111
静岡	23.4	11	198	118	1,359
R2年12月計	115.7	38	791	146	1,060
R元年12月計	22.1	25	401	55	1,847
H30年12月計	94.7	39	747	127	1,356

*各港の数値は四捨五入しているため、各港合計と月計の値は一致しない場合がある。

*平年同期:過去5か年(平成27~令和元年)平均値

*1そう曳きの場合は1隻で1か統、2そう曳きの場合は2隻もしくは運搬船を含んだ3隻で1か統とする。

[まき網(いわし類)]

マイワシの水揚量は、小川港では0.02トン(前年同月比1.1倍、平年同月比0.07%)、伊東港、静岡港、沼津港では水揚げが無かった。カタクチイワシは、小川港では0.006トン(前年同月水揚げ無し、平年同月比14.8倍)、伊東港、静岡港、沼津港では水揚げが無かった。

なお、伊豆半島東岸の大型定置網7か統の水揚量は、マイワシは0.003トン、カタクチイワシは0.2トンであった。
*平年:過去5か年(平成27~令和元年)平均値

[調査船駿河丸の動向]

12月2日	公共用水域水質測定調査	(1日間)
12月7日~12月8日	地先定線観測調査	(2日間)
12月10日~12月11日	地先定線観測調査	(2日間)
12月21日	Ma01 プラנקトン調査	(1日間)

静岡県水産・海洋技術研究所のホームページ

パソコンからは..... <https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/>

携帯電話からは..... <https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/mobile/>

右のQRコードをご利用ください。人工衛星 NOAA の海面水温分布画像と関東・東海海況速報を見ることができます。

